

デンマークとのさらなる交流を誓って

平成9年に、登別市と『友好の絆』を締結したデンマークのリンゲ市とウィスリンゲ市が、今年1月に近隣自治体と合併し『ファボー・ミッドフュン市』となったため、あらたに新市と『友好都市協定書』を締結しました。

この締結は、デンマークとの交流を契機に設立した登別デンマーク協会の10周年事業として、市長を含む会員の27人がデンマークへ親善訪問し、その中で、6月10日にファボー・ミッドフュン市にあるステンズゴーズ城で約60人が参加し、歓迎夕食会に引き続き両市の市長による調印が行われ、これまでの交流団体などへの支援に加えて、市民交流や文化交流の推進を誓い合いました。

同協会がデンマークを訪れるのは今回が3回目。参加者は、登別マリパークニクスのニクス城のモデルとなったイーエスコウ城やカルスの語源となったチェコのカルロヴィ・ヴァリ（ドイツ語でカールスバート）などを見学したほか、デンマークではホームステイやウエルカムパーティーなどで交流を深めました。



小雨の中で華麗な舞

～2007年のぼりべつ豊水まつり～



7月14日(土)と15日(日)、幌別北駅前通とらいば公園を会場に、今年で11回目の開催となる『2007年のぼりべつ豊水まつり』（同実行委員会主催）が行われました。

小学1年生の開幕宣言と花火で始まったお祭りは、初日に缶つみ競争やちびっこ浴衣ショー、太鼓の競演、歌謡ショーなどが行われたほか、メインとなる大群舞『豊水トントン』では、17団体約600人が参加し優勝賞金10万円を目指して、小雨の中も元気いっぱい華麗な舞を披露。沿道の観客からは大きな声援が送られていました。

2日目は、あいにくの雨によりよさこいソーランが中止になりましたが、フラダンスやなつかしのオールデイズ・オンステージ、ビンゴ大会などが行われ、恒例となった夏の市民まつりを楽しむ大勢の市民でにぎわいました。

七夕飾りに願いを込めて

～七夕工作～

6月16日(土)に鷲別公民館、30日(土)に市立図書館で『七夕工作』（市主催）が行われました。

この催しは、七夕に飾る七夕飾りを制作するもので、幼児や小学生など2日間で8人が参加しました。

この日は、自分の好きな色の色紙を星やハート、スイカ、飛行機、あみ飾りなどの形に切り取るのに悪戦苦闘しながらも、図書館の職員や保護者に教えてもらいながら、切り取った色紙で願いを込めて短冊などの七夕飾りを完成させていました。

